令和2年度　環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

キックオフミーティング　発表資料

活動団体名：(一社) Reborn-Art Festival

活動地域　：宮城県石巻市

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

リボーンアート・フェスティバルを核とした石巻地域循環共生圏

人口減少
少ない観光客
閉鎖的交流不足

石巻観光推進機構
石巻移住コンシェルジュ
サイクルツーリズム
ツールド東北
もらるあサイクリング

人の誘致「観光」「関係人口」

コミュニティの希薄さ
高齢化
公園などの少なさ
福祉予算の過大化
レジャーの少なさ
災害への弱さ

文化・スポーツ
総合運動公園
半島・里山豊かな自然
クリエイティブな福祉
リボらす
愛さんさん石食
ぱんぷきん
複合文化施設
復興祈念公園

自然・文化・コミュニティ新田舎「ライフスタイル」

地域自治システム
災害公営住宅
地域包括ケア
常設のパブリックアート
昔ながらの商店街/繁華街

二次交通不足
運転者の高齢化

地方が直面する課題「交通・移動」システム

新しい宿泊形態民泊/ゲストハウス
体験型コンテンツ
石巻版インバウンド
大型客船誘致事業
離島（金華山・網地島・田代島）
夜の街・スナック
ホエールランド

多様な人の関わり方

伝統文化
サンファンパティスタ号
旧観慶丸商店
歴史/文化財

3.11の震源地に最も近い街から、食・音楽・現代アートの総合祭「Reborn-Art Festival」を核に、チャレンジできる場所としてクリエイティブなローカルベンチャーを育む。

"地方"であることの可能性

コミュニティカーシェア
日本カーシェアリング協会
レンタサイクル
鉄道
バス

材料産業
ブランド・競争力の低さ
担い手不足

石巻・牡鹿半島の豊富な「食」資源

課題をポジティブに活かす

シェアリングエコノミー

アート思考によるイノベーション

アーティストインレジデンス

クリエイティブな「学び」

アート版トキワ荘
地域の教育の担い手
石巻のキワマリ荘
石巻専修大学
マンガ
各高等学校
カッコいい一次産業の担い手づくり
いしのまき学校

牡蠣
鮭
金華サバ
米
クラフトビール
ホヤ
カニ
トマト
全国区スターシェフとの協働
ウカメ
メヒ
キュウリ
鹿の食害
アナゴ
カツオ
イチゴ
鹿肉
経済の不活性
銀鮭
サンマ
日本酒
パプリカ
ホタテ
サンマ
寿司
スリーブ
震災被害
ウニ
メヒ
復興期間終了後の財源不足
いしのまき元気いちば

ローカルベンチャー
石巻工房
ダンボールヤーニ
石巻こけし
はまぐり堂

豊肉処理場
新資源
既存資源・未利用資源の見直し/高付加価値化
フィッシャーマンジャパン
石巻市農業担い手センター
生涯学習
いしのまき人財・地域創生会議

手仕事/ものづくり
すもんぷ不動産大作戦
体験を提供する小売り産業
日本製紙
3.11を経験した防災教育/震災伝承

学生・生徒の域外流出
生涯学習の担い手不足

昨年度の取組の概要（仮説と実践、気づき）

当初予定していた取組

- RAF本祭を核とした地域内外の循環づくり
- 食文化の深化・発信
- 経済性、持続可能性、地域間の波及

実践の中での気づき

- 東日本大震災の最大被災地の一つであることから、様々なイノベーションが地域で起こりつつあり、そういった実態をふまえながらステークホルダーを把握することが大事であると改めて認識した。
- 上記について、復興というテーマで既存住民が起こした変革だけでなく、震災を契機に生まれたプレイヤーの活躍もとらえるべきと感じた。

実際に行った取組

- ステークホルダーにヒアリングなどを行い、各事業者の現状などを把握。
- 意見交換会（ワークショップ）の開催
- 石巻版マンダラの作成

事業のタネ３つ

- リボーンアート・フェスティバル
- 鹿肉の食肉加工販売
- ローカルベンチャーの推進

昨年度の取組を踏まえた課題とその対応

環境整備についての課題

- マンダラの策定について：レイヤーや情報の解像度の異なる要素を1枚の紙の上に並べるのが難しかった。課題解決に向けたロジック、道筋などをどのレベルで抽象化すればいいのか悩ましかった。
- ステークホルダーの巻き込みについて：今後の進め方や事業内容をどのようにステークホルダーに伝えればいいのか悩んだ。
- 目標（成果指標）について：思い浮かぶものの測定するのにコストがかかる内容が多く（どのように測定すればいいのか悩ましい内容が多く）、どのような指標を設定すべきか難しかった。

環境ローカルビジネスの事業化に向けた課題

- 鹿肉加工販売について販路の獲得などマーケティング面
- 同加工販売について労働力の確保・生産性の向上
- 他のローカルベンチャーとの連携

課題を打破するための今年度の取組

- 他事業（石巻2025会議）との効果的連携
- ステークホルダーとのより密な意見交換
- ステークホルダーのモチベーションを高めるためにも本事業をより周知し、すそ野を広げる。

今年度の新たなチャレンジと到達目標

新たにチャレンジしたいこととその具体的な取組

- ステークホルダーの連携をより深めるとともに、新たなプレイヤーの拡充も図る。
- 本事業に関する理解を広めるため、講演やパネルディスカッションなどのトークイベントを実施する。
- 鹿肉加工販売事業を軌道に乗せるべく、商品開発や販路の拡大を図る。
- 次回本祭が予定される来年に向け、RAFについての企画準備を進める。
- ウィズコロナという特殊な状況を前向きにとらえ、これまでになく顕著になっている地方の優位性やオンラインツールを活かす。

今年度の到達目標

- 鹿肉加工販売について、新商品開発・販路獲得。
- トークイベント実施により、ステークホルダーのモチベーション向上させ、理解を深めるとともに、本事業の周知を図り、すそ野を広める。

年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			◆協定締結（活動予算執行開始	◆キックオフミーティング		現地意見交換会			◆中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◆		◆成果報告会	
話を聞きに行く！					◆ステークホルダーへのヒアリング		◆トークイベントに向けた打ち合わせ ◆新たなステークホルダーになりうる主体へのヒアリング					
地域のコンセプトを描く！									◆TRANSIT Reborn-Art 2020(仮)を踏まえた地域資源の見直し	◆トークイベント実施		
事業のストーリーを語る！					◆鹿肉加工販売について新商品開発・販路拡大着手		◆Reborn-Art Festival 2021(仮)企画制作	◆TRANSIT Reborn-Art 2020(仮)実施				
地域の目標を立てる！											◆トークイベントを踏まえてマンダラや事業プランのブラッシュアップ	

最後に

新規に取り組む団体へメッセージ

- 本事業において何をすべきか、どのようなことができるのかわかりにくいところがあるかもしれませんが、それはできることの自由度が高いということの裏返しとも言えるかと思います。

こんなことを助けて欲しい！

- 他地域の取り組みについても注目させていただき、参考になりうる部分を活かさせていただきたいです。

Antler Crafts